

## 順天堂大学大学院 新入生の皆さんへ



順天堂大学大学院に入学、進学された皆さん、おめでとうございます。また、この時をともにお迎えになったご家族の皆様にも心からお慶び申し上げます。本来であれば入学式を挙行し、多くの教職員やご家族とともに、皆さんの記念すべき入学を祝う時間を共有するはずでしたが、国内における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生を受けて私から皆さんに紙面でメッセージを贈ることになりました。

しかし、このような状況であっても、皆さんの入学が決して色褪せるものではないことは強調しておきたいと思います。

令和2年度の大学院入学・進学者は、医学研究科 修士課程 64名、博士課程 162名、スポーツ健康科学研究科 博士前期課程 62名、後期課程 18名および医療看護学研究科 博士前期課程 24名、後期課程 10名の合計 340名です。これから皆さんが大学院という新しい世界、より深い知の世界で充実した大学院生としての生活を送られることを心から願っております。

さて、大学院への入学は、皆さんが研究あるいはそれぞれの領域の高度なプロフェッショナルとしてスタートラインに立ったことを意味します。入学に際し、大学院に入学した動機、初心を再確認し、そして大学院在学中に何をなすべきかを考えてもらいたいと思います。

大学院3研究科にはそれぞれ研究分野ごとの研究室があり、担当の指導教員がおります。加えて医学研究科には、17の寄付講座と21の共同研究講座がありますが、3研究科にまたがる講座もあります。さらに順天堂には12の研究センター・研究所があり、これにはさくらキャンパスのスポーツ健康医科学研究所と女性スポーツ研究センター、浦安病院の環境医学研究所などのプロジェクト推進研究センター、静岡病院の静岡災害医学研究センターなどが含まれます。また、研究を推進・支援する研究戦略推進センター、革新的医療技術開発センターや、学生、大学院生、教員の国際交流を推進・支援する国際交流センターがあり、様々な形で皆さんの支援を行っています。

これらの多くのプロジェクト推進研究センターは、文部科学省からの整備事業として設置されたものであります。いずれも大学院の最先端の研究の場、大学院教育の実践の場でもあり、研究設備・装備は、国内でもトップレベルにあります。実際にこれらの研究設備を利用して世界に通じる質の高い論文が生まれています。例えば、医学研究科の大学院修了者の学位論文のI F（学術雑誌の影響度を測る指標）の平均は、3.2を超える非常に高いレベルにあります。

病める人を癒す医学と看護学、病まない身体をつくるスポーツ健康科学、その本質に迫る研究を皆さんには実践していただきたいと思います。論文を作り上げるためだけの研究、学位取得のためだけの研究といったことではなく、その研究がどのような形で社会にインパクトを与えるのか、あるいは次世代のために何を残せるのかといった心構えを持ち、志高く、できるだけ高い目標に向かって辛抱強く努力して欲しいと願っております。

最後に、皆さんの注意を喚起するために、一言だけ申し上げます。昨今、研究倫理に関する様々な問題が取りざたされております。目の前にある事実に向き合うという、研究者としての基本的姿勢を皆さんには堅持していただきたいと思います。

皆さんが一人前の研究者、高度な専門性をもった職業人、医療人になり、日本で、さらに世界で活躍されることを期待し、皆さんへ送るメッセージといたします。

令和2年4月

順天堂大学

学長

新井 一